

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和7年度第2回宮古市環境審議会を次のとおり開催しました。

令和8年3月26日

宮古市環境審議会

- 1 開催日時
令和8年3月19日（木） 午後3時00分～午後4時15分
- 2 開催場所
宮古市役所 4階特別会議室
- 3 議題
令和7年度版宮古市の環境（令和6年度実績報告書）について
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
エネルギー・環境部環境課環境係 電話 0193-68-9078

令和7年度第2回宮古市環境審議会会議録

- 1 開催日時 令和8年3月19日(木)午後3時00分～4時15分
- 2 開催場所 宮古市役所4階特別会議室
- 3 出席者(9名)
関川 實、武内 寛、池田 理恵、盛合 敏子、松本 幸枝、佐々木 真奈美、
及川 隆一、加倉井 理佐、小川 興隆
- 4 欠席者(4名)
竹谷 八千代、中済 秀美、中居 克広、佐々木 和弘
- 5 事務局出席者(4名)
エネルギー・環境部長 木村 剛
エネルギー・環境部環境課長 小笠原 雅明
エネルギー・環境部環境課環境係 主任 佐藤 駿
同課脱炭素推進係 主任 木村 孝輝
- 6 傍聴者(なし)
- 7 議事等
 - (1) 令和7年度版宮古市の環境(令和6年度実績報告書)について
令和7年度版宮古市の環境について、事務局が資料により説明、質疑
応答を行った。
 - (2) 令和8年度以降の環境審議会の在り方について
環境審議会と自然環境保全専門委員の統合について、事務局が資料に
より説明、質疑応答を行った。

質疑応答内容

質問・意見	回答
<p>【議事(1) 令和7年度版宮古市の環境(令和6年度実績報告書)について】</p> <p>(委員) 2020年の宮古市の降雪の水素イオン濃度の年平均値が東北平均より高い理由は。</p> <p>(委員) 閉伊川沖の水門工事は何年から開始したか。</p> <p>(委員) 閉伊川沖の水が少し濁っているときもあるが、原因は水門工事か。</p> <p>(委員) PFASに関して食料品等のデータはあるか。</p> <p>(委員) 水質汚濁の件数が多いが、どのような内容か。 また、海まで油が流出した事例はあるか。</p> <p>(委員) CO₂排出量の削減目標は、人口減少を加味しているか。</p>	<p>(事務局) 降雪時期は各地で異なる。サンプル採取日時も異なるため、差が生じたと推察される。</p> <p>(事務局) 平成25年12月から始まっている。</p> <p>(委員) 矢板で止水をした上で施工しているので、水門工事による水質への影響はないと考えている。</p> <p>(事務局) 県や市でPFASの測定を行っている。暫定目標値を大幅に下回っている状況であり、食品の検査は実施していない。 水質測定の結果も注視しつつ、必要に応じて、検討していきたい。</p> <p>(事務局) 車両事故等により、側溝などに油が流出したというケースが主なもの。 油が漏れた場合は、管理者が油吸着マット等での対応をしており、海まで油が流入した事例はない。</p> <p>(事務局) 人口減少等による「自然減」も含め、省エネ化や再エネ導入等の様々な要因を加味して目標値を定めている。</p>

【その他 (2) 令和8年度以降の環境審議会の在り方について】

(委員)

近年、有害鳥獣が増加傾向にあるが、統合にあたっては、哺乳類の専門家は必要ないか。

(事務局)

有害鳥獣について、県は、令和7年度にツキノワグマ緊急対策チームを立ち上げている。

市も、令和8年度から農林課に鳥獣対策室を設けて一元的な有害鳥獣対策を行う。

有害鳥獣対策は、具体的対応が既に始まっており、今回の統合においては、現状の専門家を環境審議会に抱合する形としたい。